

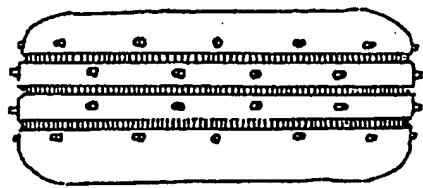
WEST**Help Logout****Main Menu | Search Form | Result Set | ShowS Numbers | Edit S Numbers |****First Hit****Previous Document****Next Document****Full | Title | Citation | Front | Review | Classification | Date | Reference | Claims | IOMC |****Entry 210 of 413****File: JPAB****May 16, 1989****PUB-NO: JP401122708A****DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01122708 A****TITLE: SPIKE TIRE POSSIBLE TO BE MANUALLY CHANGED OVER****PUBN-DATE: May 16, 1989****INVENTOR-INFORMATION:****NAME****IWAMA, TERUO****ASSIGNEE-INFORMATION:****NAME COUNTRY****IWAMA TERUO N/A****APPL-NO: JP62281535****APPL-DATE: November 7, 1987****INT-CL (IPC): B60C 11/16****ABSTRACT:**

PURPOSE: To make it possible be a tire as both spike tire and a normal tire by embedding pin in the inside of crests of the tire, and by charging and discharging air through a valve so as to extend and retract the pins from and into the tire crests.

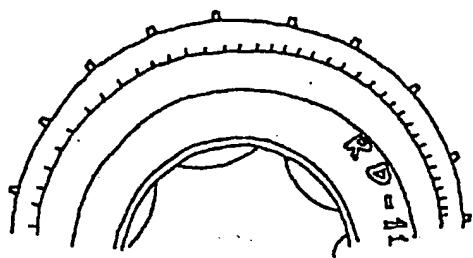
CONSTITUTION: Pins B are embedded in the inside of crests A of a tire, and secured in air holes C, and air is charged and discharged through a valve D. The pins B are pushed up by charged air from the valve D, and are extended from the tire crests A so as to prepare a spike tire. Meanwhile, when air is discharged through the valve D, a tube contracts so that the pins B are retracted into the tire crests A to prepare a normal tire.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio**Main Menu | Search Form | Result Set | ShowS Numbers | Edit S Numbers |****First Hit****Previous Document****Next Document****Full | Title | Citation | Front | Review | Classification | Date | Reference | Claims | IOMC |****Help Logout****BEST AVAILABLE COPY**

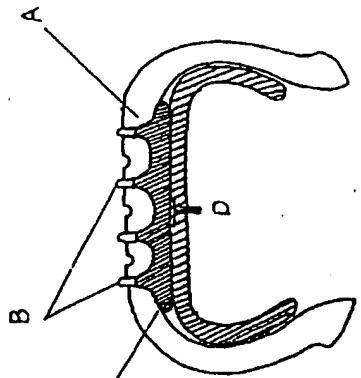
第1図



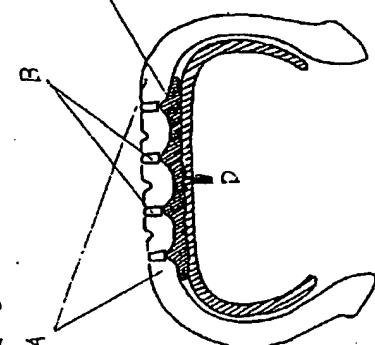
第2図



第4図



第3図



様式5 (顎唇、明細書、図面等の補正をする場合)

手続補正書(方式) 明細書・図面等の補正 昭和63年3月2日	
特許庁長官殿	
1. 事件の表示	昭和62年特許願第281535号
2. 発明の名称	手動操作による自在使用スパイクタイヤ
3. 補正をする者	事件との関係 特許出願人 住所(居所) 山鹿市三戸原 名川町 仲西 大切 / 3-37 氏名(名称) イワマチルオ
4. 代理人	住所(居所) 氏名(名称)
5. 補正命令の日付(発送日)	昭和63年2月3日
6. 補正の対象	明細書 発明の名称の欄
7. 補正の内容	初願出の発明の名称を手動操作による自在使用 スパイクタイヤと補正する

特許庁
3.1.23

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 平1-122708

⑬ Int.Cl.

B 60 C 11/16

識別記号

厅内整理番号

7634-3D

⑭ 公開 平成1年(1989)5月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 手動操作による自在使用スパイクタイヤ

⑯ 特願 昭62-281535

⑰ 出願 昭62(1987)11月7日

⑱ 発明者 岩間 照雄 青森県三戸郡名川町剣吉大坊13-37

⑲ 出願人 岩間 照雄 青森県三戸郡名川町剣吉大坊13-37

明細書

1. 発明の名称

手動操作による自在スパイクタイヤ

2. 特許請求の範囲

スパイクピン用空気孔に空気を充てん
又は・抜き去ることにより・ピンをタイ
ヤ外側上部に突出・又は埋没させ・スパ
イクタイヤと平常タイヤとの両用に使
用するタイヤ

3. 発明の詳細な説明

この発明は・横滑時 にはスパイクタ
イヤとして使用し・平常路においては
手動により・直ちに普通タイヤとし
て使用することが可能になるタイヤで
ある。

イ. 即ち・スパイクピン取り付け孔に
空気を充てんすることにより孔がふ
くらみ・チューブがピンを押しつけて
スパイクタイヤとなるものである。

ロ. 又・スパイクピン用バルブをゆるめ
空気を抜くことにより・チューブが下
降し・ピンが・タイヤ山に埋没し

普通タイヤとなる。

従来のスパイクタイヤは ピンを除去す
ると再使用が困難であつた

本発明は、この欠点を除くために発明された
ものであり、普通 タイヤとスパイク
タイヤとを手動によりいつでも両用に使
用可能にするものである。

これを図面について説明すれば、

イ. 図3

タイヤ山A の中にピンB を埋め・空気
孔C に固定する。
バルブD により空気を注入する。

ロ. 図4

D より注入された空気が C において
E. ピンB を押し上げ・A. のタイヤ

山より上方に突出し・スパイクタイヤとなる。
4. 図面の簡単な説明。

第1図は・スパイクタイヤの正面図

第2図は・スパイクタイヤの側面図

第3図は・空気除去中の普通タイヤ断面図

第4図は・空気充てん時スパイクタイヤ断面図

特許出願人 岩間 照雄